

【 概 要 】

平成24年度 民間住宅ローン利用者の実態調査
【民間住宅ローン利用者編】(第1回)

1. 調査の概要

調査対象期間(平成24年3月～平成24年6月)に民間住宅ローンを借入された方を対象とし、利用された住宅ローンの金利タイプ別や住宅ローン選びに関する事項について、インターネットによるアンケート調査を実施(6/8～6/15)し、その結果を取りまとめたものである。回答数:1185件。

2. 調査結果の主なポイント

(1)「変動型」利用割合は54.6%に増加

- ・「変動型」は、今回の調査対象期間(平成24年3月から平成24年6月)を通しての利用割合が54.6%(前回調査:51.4%)に増加している。
- ・「全期間固定型」の利用割合は、今回の調査対象期間を通しての割合が23.2%(前回調査:21.3%)に増加している。<p2>

(2)今後1年間の住宅ローン金利見通しは「現状よりも上昇する」が小幅増加

- ・今後1年間の住宅ローン金利見通しについては、「現状よりも上昇する」が21.7%(前回調査:18.3%)と小幅増加し、「ほとんど変わらない」も68.2%(前回調査:65.9%)と小幅増加している。<p9>

(3)住宅ローン選択の決め手は、圧倒的に“金利の低さ”

- ・住宅ローンを選んだ決め手は、「金利が低いこと」とする回答が72.0%と圧倒的に多い。次いで、「住宅・販売事業者(営業マン等)に勧められたから」「繰上返済手数料が安かったこと」の順となっている。<p14>